

KAYUKAI

香友会だより

ごあいさつ

同窓会会長
松本 康範

入梅の候、皆様におかれましては、このコロナ禍にあっても益々隆盛のこととお慶び申し上げます。

日頃より香友会並び母校の発展のため格別のご理解とご尽力を賜りお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の深刻な影響を受けて非常に厳しい不安な状況を見込まれています。この状況下の中で学校での行事も行われ入学式もコロナ対策のため新入生と保護者だけの縮小した入学式でした。遠足も行く場所が限定され、三年生は小豆島、二年生は鷺羽山ハイランド、一年生は琴平に行きました。何ものにも代え難い思い出づくりの場となる修学旅行。中止となり楽しい思い出づくりがつかれず残念に思います。

百十周年記念体育祭は秋に延期になりました。百十周年記念誌の制作は予定どおり順調に進んでいます。令和二年は、ソフトボール部女子

が総体代替大会で、新人戦、総体、それぞれ優勝。バレーボール部女子も優勝。バスケットボール部女子もブロック優勝など大活躍でした。相撲部は新人戦、団体戦、個人戦それぞれ優勝。水球部も総体、新人戦、で毎回優勝しています。剣道部、ハンドボール部、テニス部、サッカー部、弓道部など厳しい練習をし活躍され常に上位入賞をしています。

文化部は、書道部、全国書道展で特選、吹奏楽部は、日本管楽合奏コンテストで優秀賞など、合唱部は全国高等学校総合文化祭にWeb出場など、放送部は県高校放送コンテストトアナウンス部門で団体準優勝頑張っています。

令和三年度第六十一回県高校総体においてはバスケットボール部女子が四十四年ぶりに優勝してそのチーム力の結晶、終盤逆転女王に感動しました。さらにバレーボール部女子、水球部、相撲部も優勝という素晴らしい成績を収めたことに、心から拍手を贈ります。

百年に一度有るか無いかの新型コロナウイルスの災禍の渦中にあります。生物的な戦い、経済的な戦い、世界観を再構築する戦いであると思

います。今も毎日医療基盤、社会基盤を支えて下さっている医療に従事する方々、そして生活物資供給に関わる産業の方々に感謝申し上げます。早く皆様にワクチンを接種して第五波に見舞われることのないよう望むばかりです。今後の感染予防にご注意されお過ごしください。

この苦難を乗り越えて百十周年という歴史を継承し、今後のご活躍とご発展そして、ご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。

ごあいさつ

校長
松本 聡司

香友会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に深いご理解と多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

本校は明治四十四年の創立以来、明治、大正、昭和、平成、そして令和の五つの時代を歩み、令和三年には創立百十周年の記念すべき年を迎えることとなりました。多様で特色



発行者

香川県立高松南高等学校
同窓会会長 松本康範
香川県高松市宮町531
印刷所 (株)中央印刷所

ある教育活動を展開することにより、地域の中で独自の魅力を持ち、存在感のある学校として地域とともに発展してきました。これまでに、四万余名の有為な人材が本校を卒業し、全国へまた世界へと羽ばたき、あらゆる分野で活躍されています。もとより、地元に残り、この地域の発展に貢献してきた人々が大きくおられます。これは本校の強みとなっています。

今年、創立百十周年を迎えるにあたり、様々な記念事業を計画しています。五月には記念体育祭とドローンを使つての人文撮影を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期となりました。九月には記念文化祭としての南高祭「輝跡」の開催、その後、創立百周年以降の十年間の南高の移り変わりや南高生の活躍の様子をまとめた記録誌のような記念誌の発行を予定しています。

次の創立百二十周年、人に例えれば大還暦(二度目の還暦)という大きな節目に発行するであろう記念誌のさらなる発展に引き継がれることを期待しています。

さて、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休業や部

活動の全国大会・卒業式等の中止・縮小など学校生活において大きな影響がありました。三年生は大学等へ進学し、より専門的な勉強をする人、就職して社会人となり、経済的にも精神的にも自立する人、その道は様々でしたが、高松南高校で学んだことに自信と誇りをもって卒業しました。また、看護師国家試験や介護福祉士国家試験では全員が合格することができました。部活動においても、県総体の代替大会や新人大会等での素晴らしい活躍が見られ、その都度、同窓会からは報奨金をいただきました。今年度は生徒約九百名が各々の個性をきめきめながら、それぞれの学科の特色を生かした学習活動に励み、また多彩な学校行事や部活動等を含めた学校生活に意欲的に取り組み、かけがえのない青春の日々をいきいきと送っています。今年の県総体は無観客とするなど感染症対策を徹底して開催できることになりました。放課後になると、勝利を目指して練習に頑張っている生徒たちの大きく元気な声が校内に響き渡っています。

県総体では、自分と仲間を信じ、励まし支えてくれた家族や南高生から送られるエールを感じ、活力と笑顔あふれる南高生の本領を発揮して大活躍してほしいと期待しています。後輩たちの活躍を是非、応援していただきますようお願い申し上げます。

結びに、香友会のみならずの発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げて、ご挨拶いたします。

南高百景

コロナウイルスの影響

世界的に猛威を振るっているコロナウイルスですが、高松南高校でもその影響により普段の高松南高校とは全く違った学校生活を送ることになりました。

コロナウイルスの影響が香川県でも深刻になり、高松南高校も、令和二年三月二日から四月五日まで臨時休業になりました。

この状況下での卒業式は、卒業生と保護者のみでの式となりましたが例年と変わらない素晴らしい卒業式でした。始業式では、久しぶりに生



徒が登校し、今まで静まりかえっていた校舎が一気に明るく活気のある場所に生まれ変わりました。生徒にとっても久しぶりに会う学校の仲間との再会を喜んでいました。入学式はコロナ対策のため、新入生と保護者のみでの短縮した式となりました。

コロナウイルスは収まることなく、二度目の臨時休業が四月十三日から始まりしました。

約二か月の臨時休業を終えて、通常授業が開始されました。この頃から、徹底した除菌、手洗い、マスク



の着用、朝の検温は毎日の習慣となりました。

臨時休業の影響で夏休みは八月一日から八月の十九日までの休みになりました。

南高祭は一般公開を行わず、生徒だけの一日での南高祭でした。体育祭は九月に三密を避ける競技を中心に行いました。遠足もいつもは三年生が同じ日に行っていました。密を避けるために、一学年ずつ違う日に遠足を行いました。

コロナ禍における令和三年の卒業式はリモートを使つての式となりました。卒業生と保護者は体育館で、一・二年生は各教室で体育館の式の映像を見ました。卒業生が体育館から各教室に戻るとき、中庭や校舎から一・二年生が卒業生をお祝いしま



した。

生徒にとって高校生活の最大の行事である修学旅行は、コロナの影響により行くことができませんでした。部活動でもコロナの影響は大きく、

令和二年度の総体は開催されませんでした。代わりに代替大会が多く、競技で開かれ、三年生は高校生活のすべてを発揮して、頑張りました。令和三年度は総体は開かれることになりましたが、生徒全員で選手を送り出す壮行式ができませんでした。その代わりに応援団が各部活動に赴き、エールを送り選手を送り出しました。

このようにコロナウイルスの影響でいろいろな行事の変更や中止もありましたが、高松南高校の生徒は自分ができることを精いっぱい頑張

り、学校生活を充実したものにしています。香友会の皆様にはいつも母校を応援して頂きありがとうございます。コロナの影響で文化祭や定期演奏会などに皆様をご招待できないことが非常に残念です。コロナが収まり、皆様が学校を訪れた際には、新しくなった校舎と皆様が育まれた南高校で充実した学校生活を送っている生徒を見てもらいたいと思います。

香友会事務局 片山 和隆

令和3年度

高松南高等学校 定期演奏会

8月17日(火) 18時開幕予定です。

しかし、コロナ対策のため、招待状方式の入場になります。楽しみにされていた香友会の皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解の程、よろしくお願い致します。

ヒマラヤ杉二世

令和三年六月現在のヒマラヤ杉二世の生育状況をお伝えしたいと思います。

先日、剪定作業を終えて、素晴らしい景観で高松南高校を見守っています。

樹高は三・七メートルで、生育状態は良好です。



百十周年記念事業

記念誌の作成は順調に進んでいます。記念誌作成の他に、百十周年を記念して、百十周年記念体育祭・文化祭を開催することになっています。百十周年記念体育祭では、生徒全員が人文字を作りそれをドローンで空中から撮影する予定です。それと百十周年記念文化祭では、ペットボトルのキャップを使ってギネス記録を狙えるような大きなペットボトルキャップアートを作る予定です。

支部だより

〈関西支部だより〉

関西支部支部長 中澤 正信

関西支部の総会は隔年ごとに行うと計画しており、第十八回の開催は今年(令和三年)十月に開催するとご案内しました。しかし、今なおコロナウイルス感染症の終息が見通せない現状です。開催日までは五か月間の猶予があり、それまでに終息すれば開催可能ではとの思いもあり検討しましたが、特に関西地区の感染者が多く、十月の開催は時期尚早との結論に至りました。コロナ感染症の完全終息の発表があるまで関西支部の総会は残念ですが延期することになりました。会員の皆様はじめ関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しますが御理解と御協力を宜しくお願い致します。「冬来りなば春遠からじ」ということわざもあります。新型コロナウイルス大規模接種センターが東京と大阪に開設されたとの報道があり十月末には全国民の接種を終えるとのこと。まさしく「春遠からじ」の前触れだと思います。第十八回の総会にはこのコロナ

騒動を皆で笑って話せることを願っております。第十八回総会が開催可能になれば改めて御案内を申し上げますので宜しくお願い致します。皆様のご健勝とご活躍を祈念致しております。

続いて二部の懇親会に移り平畑校長先生の御挨拶がありました。校長先生は令和二年三月末で定年退職をされることを話されました。関西支部は平畑校長先生に大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

続いて懇親会に移りましたが会が進むにつれ「何しよったんな。心配しよったんで。元気でやっとな。」と云う懐かしい讃岐弁が飛び交い座は一気に盛り上がりました。和気あいあいの雰囲気の中ビンゴゲームを行ない関西支部の総会を終了としました。関西支部の総会は隔年ごとの開催です。第十八回の開催は来年の令和三年十月を予定しております。改めて御案内申し上げますので多数の御出席をお待ちしております。

〈一宮支部だより〉

一宮支部長 安田 正彦

令和二年八月五日(水) 午前十時
一宮コミュニティセンターで、一宮支部役員会を開催。

- ①令和元年度事業報告・会計報告
- ②令和二年度予算・事業計画
- ③一宮支部会則

以上原案通り承認されました。
尚、一宮支部総会については新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

支部役員により香友会だよりを会員に配布。

高松から又一つ香川が消えました。昭和生まれの私としてはすこしさみしい思いがします。香川高校から高松南高校、香川県からうどん県、そして車のナンバープレートが令和二年から香川から高松に変更になりました。

最後になりましたが、同校の発展と香友会の皆様方の健康と発展をお祈り申し上げます。

香友会一宮支部会員のみなさんへ

一宮支部長 安田 正彦

高松南高等学校同窓会 一宮支部総会ご案内

新型コロナウイルスの感染防止のため
令和三年度香友会一宮支部総会は中止します

令和3年度

南 高 祭

今回のテーマは「輝跡～南高百十周年に
光輝く跡を～」です。今年も引続きコロナ
ウイルスの影響により、一般公開を行うか
どうかはまだ未定です。

卒業生リレー寄稿 17

「飽きっぽいなか
職業は看護師!」

昭和61年3月
衛生看護科専攻修了
渡邊 裕子

私は25歳の時に看護師を目指し、准看護師養成所で学び始めました。

40年前の当時から准看護師制度廃止に向けての動きはあり、看護職として仕事を続けるためには看護師免許を取得するしか道はないと考え、衛生看護科専攻を受験しました。

試験会場では、18歳の看護科の受験生が楽しそうに話している中、27歳の私は恐る恐る席に着いたのを昨日のように思い出します。私の看護師としての出発は、年の離れた受験生たちと入学試験を受けたその日から始まりました。

専攻科での2年間は無我夢中で、週末は3歳の娘と「お勉強ごっこをしよう」と言って宿題をし、夜は寝かしつけた後に実習記録を仕上げました。片道2時間の通学のため睡眠時間はわずか、今思えばどこからそのようなエネルギーが湧き出して

いたのか不思議でなりません。私の人生において最もハングリーでハードな時期ではありませんが、周りの人たちに助けられ乗り越えることができました。

その後、屋島総合病院に就職し5年目となり、看護学生をお世話する臨床指導者として、母校の学生たちと共に学ぶチャンスが巡ってきました。私の屋島総合病院35年の勤務の中で、25年間看護管理に携わるきっかけとなったものは、臨床指導者として先輩たちと向き合えたこと、看護科の先生方より人を育てるやりがいを見せてもらえたことです。臨床指導者としての経験が人材育成や看護管理への興味につながり、屋島総合病院の看護部を学生から信頼され学びやすい環境に整えると共に私達自身も職場に誇りをもって働きたいと考えたからです。

私はこの3月で退職しましたが、時に看護師になるためにはどのような力が必要かと問われることがあります。話したい事は数えきれないほどあり、看護職の魅力や醍醐味、そして奥深さを伝えることができる言葉は何だろうと考えました。そこで

私が大切にしている「感じる力」・

「考える力」・「相手に対して好意を持つ心」と伝えました。自分の目の前にいる人に対して好意を持って関心を寄せ、感じる力で問題を見極め、さらに考える力で専門職としてどう行動すべきか、「思考と実践の連鎖」が途切れることなく、私を前へ前へと導いてくれたからです。

最後に高松南高校衛生看護科専攻科で学べたことは私の最大のチャンスとなりました。

看護師として充実した時間を過ごせましたことに感謝しております。

「高松南高校を経て」

令和2年3月卒業
普通科卒



林田健太郎

私は令和2年3月に高松南高校普通科を卒業しました。現在は、大阪の大学へ通い、将来公務員になるため、日々勉強しています。

私は高校時代、野球部に所属していました。特に勉強が得意という訳

でもなく、毎日毎日野球に明け暮れる日々でした。私の代は恵まれたことに人数がたくさん集まりました。

その分ぶつかることや、一つにまとまるのが本当に難しかったことを強く覚えています。3年時には主将を任せました。私に50人近くのチームをまとめることができるのかとすごく心配していました。しかし、監督・コーチは私に厚い信頼をよせてくださり、たくさん声をかけてもらったおかげで主将としてあるべき姿が自分の中で出来ました。「主将は、プレーで失敗してもチームの柱」この言葉が今でも深く心に刻まれています。

私は卒業してから、まだ高校野球を越える辛くしんどいものに出会っていません。実際に出会っているかもしれませんが、少々事は余裕をもって乗り越えることが出来ています。まだ卒業して月日は経っていませんが、ある程度の事であれば何とか乗り越えられる自信があります。

私は皆さんに今、全力で熱中していること(部活・クラブ)を最後までで弱まることなくやり切ってほしいと感じています。それは必ず何かしらの形になって自分の糧になって返ってきます。途中で逃げたくなるような時も、もちろんあって良いと思います。しかし、最後には、やり切った景色を仲間と見てほしいです。そこには頑張った人にしか感じるこ

ができない何かがあります。

最後になりますが、すごくありきたりですが、高校生活は本当にあっという間に終わります。皆さんが卒業する時に決して、やり残した事、後悔のないように、熱中しているものをやり切ってください。応援しています。最後まで見てくださりありがとうございました。

「母校に感謝」



平成22年3月
環境科学科卒
中村 優太

私は、平成二十二年三月に高松南高校の環境科学科の三期生として卒業しました。高校時代で今でも心に残っているのは、部活動と環境土木コースの総合実習と課題研究です。

部活動は野球部に所属していました。一戦必勝を目指し、朝は学校に早く来て練習を行い、夜間はナイターを点灯して練習に励みました。日々の練習は過酷で、心が折れそうな時もありましたが、チームメイトと支え合い、励まし合いながら乗り越えていくことができました。

最後の夏の県大会では、「四十二人一心は一つ」を合言葉に最後の一球まで諦めることなく全員野球で戦い抜くことができました。結果は一回

戦敗退という結果でしたが、最終最後まで応援していただいた先生方や生徒、保護者の皆様、野球部一同の心に残る試合はできたと思います。

野球部として過ごした三年間は、貴重な時間であり、何事にも変えることができない一生で一度の大切な経験でした。

環境土木コースの総合実習と課題研究で印象に残っているのが、資格受験に向けての実習や資格勉強です。

先生方の的確な指導のおかげで、トレース検定や測量士補、危険物乙種第四類等の多岐にわたる資格を取得することができました。また、日本学校農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会という種目で優秀賞を受賞することができました。受賞することができたのも、夏季休業日にも関わらず、熱心にご指導してくださった先生方のおかげだと思います。今振り返ってみても感謝の気持ちでいっぱいです。

大学卒業後は、興味があった測量設計会社に入社しました。高校時代に学んだ基礎的な知識や取得した資格を生かすことができました。

現在は、測量設計会社での社会人経験を生かし、母校である高松南高校の環境土木コースで実習助手をしています。専門分野の仕事で経験したことや学んだ知識をこれからの土木業界を担っていく生徒達に還元していきたいと思っています。また、小学

三年から十六年間続けてきた野球で培った経験や技術的な事を指導または、助言していきたいと思っています。

最後に、高松南高校の校訓である「今日あるを感謝し 最善を尽くして 日々に進むべし」を教訓に、より良い高松南高校を築いていくという強い志のもと、日々精進していきたいと思っています。

「高松南高校福祉科を卒業して」



平成27年3月
福祉科卒
梶原 沙莉

私は、平成二十七年年度年3月に福祉科を卒業しました。私が福祉科を選んだのは、小学生の頃です。誰かのお世話をすることが好きで祖父母と暮らしていたこともあり福祉に興味を持ちました。高校時代は部活に専念していました。吹奏楽部に入部し、尊敬する恩師と最高の仲間に出会いました。3年では部長を経験し、四国大会への切符を手に入れました。結果発表の時の瞬間は今でも鮮明に覚えています。

福祉科では、介護を中心に学び、実習で介護の現場を経験していくうちに当事者一人ひとりと話し、悩みを解決する相談職への関心が強まりました。そこから社会福祉士になり

たいと思うようになりました。福祉系の大学に進み、そこで福祉教育を専攻しました。福祉についての考え方を身につけながら、教育についても学んでいきました。大学四年生では、南高で2週間、教育実習を行いました。分らないことだらけでしたが、生徒たちが「先生」と呼んでくれ、慕ってくれたことが何より励みになりました。そんな私が、教師という道を選ばなかったのは、実際の福祉現場を知らない状態で福祉を目指す人たちに魅力を伝えられるのが不安になったからです。そして現場を知ってから教師という選択をする道もあることを教わり、まずは福祉現場で経験したいと思いました。

現在は、特別養護老人ホームで相談員をしています。生活相談員は、想像していた何倍も大変です。慣れないことばかりでいろんな人から助けってもらいながらなんとか業務をこなす毎日です。相談員として仕事の内容に実習生の対応があります。今後、自分が実習指導者の立場になる可能性もあります。その時に、教育現場で培った知識を活かして、福祉の知識を最大限伝えることができればと思っています。挫けそうになる時もありますが、利用者さんと話せる時間や笑顔を見るとまた頑張ろうと思えます。そして、大好きな親友も同じ施設で働いているのでその存在にも支えられています。何より福祉

の仕事が好きだから続けられています。

「今の私」



平成25年3月
家政科
(生活デザイン科卒)
國定 美希

私は九年前に家政科(生活デザイン科)を卒業しました。家政科で服飾デザインコースを選択したことがきっかけで、現在は県内のブライダル衣装店に勤務しています。

高校生活で、心に残る思い出を一つ挙げるとすれば、三年生の時の文化祭でコスチュームショーをしたことです。自分がデザインしたドレスを実際に作り、コスチュームショーをした事はとても貴重な経験でした。デザイン通りになかなかできなかったり、慣れない作業もあったりしましたが、当時いらつした片山先生に丁寧にご指導していただきながらなんとか世界にひとつだけのドレスを完成させることができました。

文化祭で完成したドレスを着て、お客さんの前でお披露目するのはとても緊張しましたが、自分が作ったドレスをたくさんの人に見ただけなのはとても嬉しく、また感動したのを覚えています。

卒業後は、被服についてもっと学

びたいと思い、服飾デザインを学べる短期大学へと進学しました。服飾デザインコースで被服に関する基礎知識や技術を習っていたおかげで、進学後もスムーズに勉学に励むことができました。ゼミでも卒業制作課題でドレスを四着作りました。

これまでの経験からドレスに関する仕事に興味を持っていたので、短期大学卒業後はブライダルの衣装店に就職しました。仕事内容は主に、ドレスの衣装合わせや婚礼の準備・片付けをしています。華のある仕事に思えますが、衣装は意外と重くとても力のいる仕事で、よく肩こりに悩まされます。それでも今の仕事を続けている理由は、お客様から「衣装の担当が國定さんでよかった」「國定さんを選んでよかったドレスがゲストの方に好評でした」と言われると、この仕事をやっていて良かった、とても嬉しくなります。

昨今のコロナ禍において、県外から友人を呼べず家族のみで結婚式をされる方や、結婚式は断念したけど写真だけでも撮りたいと思われる方も増えています。一人でも多くのお客様に素敵な笑顔になっていただけのようにこれからも頑張っていきたいと思っています。

令和2年度のおもな成績

ソフトボール部(女子)

県総体代替大会 優勝

県新人 優勝

剣道部(男子)

県総体代替大会 3位

県新人 ベスト8

剣道部(女子)

県総体代替大会 個人 ベスト8

県新人 3位

相撲部

県新人 団体 優勝

個人 優勝

バレーボール部

県総体代替大会 優勝

県選手権 3位

県新人 3位

ハンドボール部(男子)

県総体代替大会 3位

県新人 3位

選抜大会県予選 3位

テニス部

県総体代替大会 団体3位

ダブルス3位

県新人 シングルス ベスト16

(四国大会出場)

県高校1年生大会 3位

バスケットボール部(女子)

県総体代替大会 ブロック優勝

県選手権 準優勝

県新人 準優勝

水球部

県総体 優勝

(四国大会優勝・全国大会出場)

県新人 優勝

サッカー部

高円宮杯U-18 サッカーリーグ

2部-7位 3部-7位

県選手権 ベスト16

県新人 ベスト16

弓道部

県総体代替大会 男子3位

女子3位

会長杯弓道大会(1年生大会)

女子個人 優勝

書道部

全国高校書道展 推薦

全国書道展 特選

国際高校生選抜書展 優秀賞

吹奏楽部

日本管楽合奏コンテスト 優秀賞

県総文祭フェスティバル 奨励賞

全日本アンサンブルコンテスト

県大会 銅賞

合唱部

全国高等学校総合文化祭

web 出場

県総文祭「合唱の祭典」 奨励賞

香川ヴォーカルアンサンブル

コンテスト 銅賞

放送部

香川県高校放送コンテスト

アナウンス部門 団体 準優勝

個人 2位

全国高等学校総合文化祭

アナウンス部門 文化連盟賞

調理部

お弁当の日甲子園 優秀賞



令和三年三月卒業生

看護科 三十五名

環境科学科 三十五名

生活デザイン科 三十四名

福祉科 二十六名

普通科 百五十六名

合計 二百八十六名

専攻科看護科修了生 三十一名

今年から新たに同窓会(香友会)に加わった人数です。

南高校出身力士

○大喜翔

五月場所 四勝三敗

番付 西幕下五十三枚目

○大翔宗

五月場所 二勝五敗

番付 東三段目五十四枚目

二人の南高校出身力士を香友会でも応援していきたいと思えます。

亀井貴司(希善龍) インタビュー



平成15年度に高松南高校を卒業した亀井貴司(希善龍)です。私は令和2年7月場所で大相撲を引退しました。現役中は多くのご声援ありがとうございました。

さて私は南高校を卒業後、日本大学で学生相撲を経験し、平成20年3月場所の前相撲で初土俵を踏み大相撲の道に入りました。大相撲の世界はとても厳しく、加えて多くの怪我に悩まされるなど辛いことがたくさんありましたが、諦めずに関取になるという夢に向かって稽古に励みました。

その夢が叶ったのが、平成25年3月場所です。一番勝てば新十両への昇進に近づくときの対戦相手は若三勝(わかみしょう)、現大関の照ノ富士でした。彼は、当時から力も技もあり、将来を期待されていた力士でしたが、「夢を叶える」「絶対に勝つ」という強い信念を胸に秘め挑みました。立ち合い後、得意の上手に手がかかり、相手が出てきたところを瞬時の上手投げで勝つことができました。この取り組みは、今では私の12年間の大相撲人生の中で、最も印象に残る一番となっています。

引退後は香川県に帰り、応援してくださった地元皆さんや普通寺市に恩返しをしたいという思いから普通寺市職員採用試験を受け、今年の4月からは商工観光課で勤務しています。仕事内容は普通寺市のPRをしたり、特産品の「ダイシもち麦」や「キウイフルーツ」を全国に広めるためのイベントの開催などであり、まるで初土俵のような毎日を送っています。

また休日には小学生や中学生、南高校の相撲部の指導のほか、相撲教室を開催して香川県の相撲の発展に貢献すること、ひいては大相撲で活躍する選手を育成することが、現在の私の夢となっています。

新型コロナウイルスの影響で、多くの行事や試合などが延期や中止になっており、先の見えない状況の中ではありますが、自分の将来の夢を持って、その夢に向かって突き進んで行ってください。南高校のOBとして、後輩の皆さんを応援しています。



令和3年度香友会評議員会 及び 総会開催中止のお知らせ

高松南高校香友会

会長 松本 康 範

平素は香友会にご理解ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

今年度開催予定の令和3年度香友会評議員会及び総会につきまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止を理事会におきまして決定いたしました。

令和2年度会計決算ならびに会務報告、令和3年度会計予算・会務予定について、香友会会則により理事会にて承認されました。

このような決定となりましたことについて何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

また、令和4年度香友会評議員会及び総会は、例年どおり開催する予定です。

今後とも、香友会にご協力を賜りますようお願い申し上げます。